

東京 ミッドタウン・デザインハブ 特別展

Tokyo Midtown Design Hub Special Exhibition:
Born with Flowers
Reconstruction and Art after 3.11

花
と
も
に

3・11から10年。

被災地に寄り添い続けた

岩手未来機構と関わりの深いアーティストの制作を

岩手県の復興の歩みと共に展示します。

生
ま
れ
ん。

3・11以後、復興とアート

2021年3月1日[月]—3月13日[土] | 11:00—19:00
会期中無休・入場無料

東京ミッドタウン・デザインハブ[ミッドタウン・タワー5F]

Monday, 1 March – Saturday, 13 March, 2021 Venue: Tokyo Midtown Design Hub (Midtown Tower 5F) Open Daily / Admission Free

展示アーティスト アナ・ダブツォ(スイス) マグダレナ・ソレ(アメリカ合衆国) 長友心平 川口まどか

3.11の記憶をアートに留める活動を行ってきた岩手未来機構の活動記録を岩手県の復興の歩みと連動し展示

- 共催：いわてアートプロジェクト実行委員会(NPO法人岩手未来機構 019-613-7781 iwatemiraikiko@lime.ocn.ne.jp) 東京ミッドタウン・デザインハブ
- 後援：在日スイス大使館 在日セルビア共和国大使館 岩手県 岩手デザイナー協会 岩手日報社 NHK盛岡放送局 IBC岩手放送 テレビ岩手めんこいテレビ 岩手朝日テレビ FM岩手 朝日新聞 毎日新聞 読売新聞
- 協力：岩手県復興局

Tokyo Midtown

DESIGN
HUB

花 こころに 生まれん。

3.11以後、復興とアート

2021年3月11日、未曾有の東日本大震災から10年を迎えます。

岩手県ではこれまで国内外からの多くの支援を受けながら復興が進められてきました。

10年間という時間によって哀しみが薄れてしまうことはありませんが、

被災後の新しい暮らしが始まり、3.11は少しずつ歴史の一部になりつつあります。

この展示では、10年間の復興の歩みと変わりゆく被災地の姿について岩手県復興局によるパネル紹介と、

被災以後、NPO岩手未来機構と深い変わりのある国内外のアーティストたちが被災地に寄り添い表現してきた作品を展示いたします。

2021年も間もなく芽吹きと開花の季節を迎えます。新たに生まれた命の喜びと、それ以前に逝ってしまったものたちへの哀しみ。

春は、命の循環という人の力ではどうすることもできない摂理のなかに人々の思いが織り込まれた季節なのかも知れません。

この展示が、被災後の10年間を静かに省みながら復興とその向こうにある悼みを伝えるものになることを願っています。

アーティストプロフィール

ANA D'APUZZO



1978年セルビア・クセヴァク生まれ。10代の時期にセルビアの内戦を体験する。現代建築家、アーティスト、デザイナー。現在、理論と実践における現代美術と建築を専門に活動中。専門はデジタル、3D、アート・建築ファッションと衣装デザイン。1990年ユーゴスラビア「赤十字美術コンテスト」優秀賞/2003年米国「BID Zone Krusevac - Mercy Corps」建築賞/2007年セルビア・クセヴァク「スクエア・コスタリカの復興」講演/2010年フランス「Prix Emil Hermes」ファイナリスト/NY・グッゲンハイム美術館「Create the Void」ファイナリスト/フランス「ココシャネルによるブラック&ホワイト」ファイナリスト/2011年米国「アート&サイエンスコンペティション」ファイナリスト/2015年イタリア、ミラノ「The Plan Awards Special projects」ファイナリスト

- 2013年～2015年 ワークショップ(野田村 製織りクラブ/盛岡市 盛岡情報ビジネス専門学校/仙台市ファッション専門学校Doreme/郡山市 今泉女子専門学校)
- 2016年 国体文化プログラム いわてアートプロジェクト2016招待アーティスト(盛岡市南島荘/川俣)
- 2017年 ANA D'APUZZO展(S-PAL仙台)
- 2018年 ANA D'APUZZO展(秋田県立美術館/奥州市 正法寺/クロステラス盛岡)
- 2019年 ANA D'APUZZO展(青森県立美術館/奥州市 正法寺)

MAGDALENA SOLÉ



スペイン出身。両親がフランコ独裁に反発しスイスに移住した為、その後スイスで育つ。スイスの大学卒業後、コロンビア大学に編入し美術修士号を取得。プロダクションマネージャーとして「Man On Wire」でオスカー受賞(長編記録映画賞)。フランスのPX3 Prix de la Photographieで銀賞を受賞。作品は、米国とアジアで広く展示され、2015年には世界で活躍する8人のカメラマンに選ばれる。また、全米で社会貢献をした人物として選出される「命の木賞」を、写真家として初めて受賞した。作品集としては「New Delta Rising」(ミシシッピ大学出版)が出版されている。

- 2011年～2015年 岩手・宮城・福島 撮影
- 2015年 マグダレナ・ソレ高校生公募写真展
- 2016年 国体文化プログラム いわてアートプロジェクト2016 招待アーティスト(盛岡市 岩手銀行赤レンガ館)MAGDALENA SOLE展(伊藤忠 ギャラリーアークスクエア/仙台ココギャラリー)
- 2017年 岩手・宮城・福島 撮影
- 2018年 岩手・宮城・福島・青森 撮影 岩手県高校文化連盟 講演 盛岡 不來方高校 MAGDALENA SOLE展(平泉町 達谷窟)
- 2019年 奥州市 正法寺 緑展

長友 心平



鹿儿岛出身。東京在住の画家。関東を中心に似顔絵イベントや絵画教室を開催。水彩画・アクリル画を使い分けた色どり豊かな表現が特徴。2011年よりアートによる東北復興支援活動中。〈書籍〉「身近な動物の似顔絵レッスン」誠文堂新光社 「NHKテキスト趣味どきっ!」NHK出版 〈連載〉「愛犬の友」誠文堂新光社など。

- 2014年 心の復興事業 講師(盛岡市 復興支援センター)
- 2015年 24時間テレビ 祈りを届けよう(釜石市 イオンタウン釜石)
- 2016年 国体文化プログラム いわてアートプロジェクト2016 招待アーティスト(岩手県公会堂 浜藤ホール クロステラス盛岡 フェザン)
- 2017年 心の復興事業 講師
- 2018年 祈りを描く展(平泉町 毛越寺)
- 2019年 奥州市 正法寺

川口 まどか



大阪府出身。大阪芸術大学美術学科卒。1983年「ハローフレンド」(講談社)に掲載の「はあとびとさしみイコ」でデビュー。ホラー漫画の枠を超え、哲学的命題を主題にしたヒューマンドラマ「死と彼女とばく」は、かつてのハリウッドムービー「シックスセンス」に影響を与えたという巷の噂もある。日本漫画界のクオリティの高さを物語る名作。人間以外のものの声が聞こえてしまうため世間と深く関わらないように生きてきた少女が、死者が見えてしまうため悩みながら生きてきた少女と出会うことで、死者たちは何を想い、何を感じ、この世に留まるのかを問う「死と彼女とばく ゆかり」を「one more kiss」(講談社)で連載中。ほか「海の砂漠」シリーズなど多数の著書がある。

- 2015年 川口まどかWS(若泉町ブルートレーン)
- 2016年 国体文化プログラム いわてアートプロジェクト2016 招待アーティスト(岩手県公会堂 南部伯爵邸 モスビル)
- 2017年 川口まどか×東北学院大学 金堂清 教授×ナポリアートアカデミア Rosaria lazzetta教授 対談(仙台)
- 2018年 川口まどか講演会(奥州市 正法寺)
- 2019年 川口まどか展(青森県立美術館)

岩手県復興局

“復興支援ありがとう”

東日本大震災津波から10年を迎えます。これまで、岩手県に国内外の皆様から、数多くの心温まる御支援をいただきましたことに感謝申し上げます。また、文化芸術の分野においても、津波の被害を受けた沿岸部の貴重な美術収蔵品の救出や修復に多くの皆様からの支援をいただきました。岩手県は、これからも、支援への感謝とともに、復興の姿と震災の事実や教訓を伝承、発信し続けます。

(岩手県復興局 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1)

いわてマガジン

2018年に、若手漫画家の発表の場と岩手の魅力発信のために創刊したマンガ誌「いわてマガジン」は、その活動の一環として、マンガで震災の記憶を残す取り組みも行ってきました。本展示ではそれらの作品もご紹介します。



アクセス

- 1 都営地下鉄大江戸線「六本木駅」8番出口より直結
- 2 東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路にて直結
- 3 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約8分

東京ミッドタウン・デザインハブ

〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F

Tel 03-6743-3776 <https://designhub.jp> info@designhub.jp



いわてアートプロジェクト実行委員会
(特定非営利活動法人 岩手未来機構)

NPO法人 岩手未来機構
MITAHOUSE

〒020-0062 盛岡市長田町6-16

Tel/Fax 019-613-7781

<http://iwate-miraikiko.sakura.ne.jp/>